

熊本復興支援隊を実施しました！

2017年3月31日発行

昨年4月14日に発生し、甚大な被害をもたらした熊本地震。ボランティア活動の受入整備は現在も整っていない状況であり、今後しばらくは難しいと考えられます。しかし、今まさに被災地の現状を見ることで、自分たちにどのような貢献ができるのか、現地のニーズを知ることに大きな価値があると考え、学生センターの教職員の引率のもと、14名ずつの3期に分かれてツアーを企画しました。震災後に熊本を訪れた経験を持つ、課外活動団体のソフィアボランティアネットワーク(SVN)の学生がヘルパーとして参加しました。

<ツアー日程> 第1期 2月21日(火)～23日(木) 第2期 2月28日(火)～3月2日(木) 第3期 3月8日(水)～10日(金)

1日目 熊本国際交流会館、ソフィア会の方より講話

熊本国際交流会館では震災当事、外国人向けの避難所を開設し、さらに、日本語が分からず、混乱する被災外国人を受け入れ、多言語で生活情報を提供しました。この対応が、外国人の不安を和らげ、いかに重要な役割を果たしたかを学びました。

熊本より外国人が多く住む東京、特に上智大学にいるからこそ、今回教わったことを活かすべきだと思いました。



2日目 益城町周辺の災害視察 木山仮設住宅を訪問 広安西小学校を訪問 熊本県立大学を訪問



→木山仮設住宅には、全壊・大規模半壊・半壊の人が、最大2年間の入居が可能。3分の1の世帯が介護を必要としており、また子どもの遊び場がないなど、課題も多々ありました。



←熊本市内では震災の面影を感じられなかったが、益城町では全壊したままの家や取り壊しや再建の目途が立っていない家があり、復興まで時間がかかると感じました。



←熊本県立大学の学生さんは、自分たちも被災者でありながら、学生ボランティアのグループを結成させ食糧配布や交通・トイレ整備、介護や安全見守りなど、多くの運営を学生ボランティアで行いました。

3日目 グループディスカッション

最終日はSVNのヘルパーを中心にグループディスカッションを行いました。テーマ①「3日間で印象に残ったこと。」テーマ②「巨大地震が東京で起きたと想定して、「現在の上智大学に不足しているもの、必要なもの、上智で具体的にどんなことが起こるか?」について、話し合いました。3/29(水)には、3期合同で事後研修を行い、次年度に報告会等を開催できるよう、今後も活動を継続する予定です。



参加学生の感想

・東京の学生ボランティアの入りにくい事情、しかし様々な困難を抱える人々がいて、復興まではまだまだという中で私たちに何ができるか考えた末、風化防止には貢献できるはず、より多くの人を巻き込んで今後の支援について考えようと思いついたのがこの企画です。結果、期待以上の成功だったと思います。今後も私たちにできることをこつこつ進めていきたいです。(SVNヘルパー代表・総合グローバル学部2年 白石 恵那)

・「上智大学生として、東京で大災害が発生した場合にどう行動できるか」ということを研修中常に頭に入れて行動しました。熊本県立大学の学生さんの話から、とにかく動ける人がまず動くべきだ、と感じました。それは研修に参加した我々であり、研修で考えたことを、今後実行したいと思います。(第1期参加者・法学部1年 近藤 史也)

・広安西小学校の校長先生からのお話の中で、言葉1つで被災者の心を傷つけることにもなることを知りました。たとえ貼り紙の文言だとしても、被災者の立場になって考える必要があり、「こころのケア」が今後最も必要なのだと思いました。(第2期参加者・総合人間科学部1年 川名 雪花)

・震災当時のことを思い出さずだけで辛い中、自分たちの経験を活かしてほしいという思いで、積極的に被災経験を話してくれました。それを今後活かしていけるのは自分たち大学生だと思うので、在学中に多くのことを学びたいと思いました。(第3期参加者・経済学部2年 藤川 弘)

地域貢献で活躍中の課外活動団体 「ドンキホーテ」を紹介！！

ドンキホーテは2012年より、千代田区番町小学校でPTAが開催する校庭開放で児童と遊ぶボランティア、児童館での活動や学習支援などを行っている団体です。番町小学校では、都内でも郡を抜いた数の小学生がこの校庭開放に参加しています。

遊び以外にも、友達との関わり方や施設使用のマナーなどを、ドンキホーテのメンバーからアドバイスすることもあるそうです。活動目標は、「子どもたちを見守り、共に成長すること」、「レクリエーションを通して子どもたちと触れ合う」としています。



4月には、沢山の新生入生に入学してもらい、子供達から得る貴重な体験をシェアしたいと願っています。

←ドンキホーテのメンバー



上智大学学生センター
ボランティア・ビューロー(ボランチ)
場所:2号館1階 学生センター⑧窓口
Mail: volunteer@cl.sophia.ac.jp
twitter: @SophiaVolante